

厳選良問

～ 漢字と主語に注目 ～

分野	相談援助分野	出典	社会福祉士試験(第29回-問題106)
----	--------	----	---------------------

===== 問題 =====

問題 バイステック(Biestek, F.)の援助関係形成の原則に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 「自己決定の原則」は、クライアント自身や第三者に重篤な危害が及ぶことが想定される場合においても優先する。
- 2 「受容の原則」とは、ワーカーの個人的な先入観と一致する場合において、クライアントを受け止めることである。
- 3 「個別性尊重の原則」とは、他のクライアントと比較しながら、クライアントの置かれている状況を理解することである。
- 4 「非審判的態度の原則」とは、クライアントを一方向的に非難したり、判断しないことである。
- 5 「統制された情緒的な関与の原則」とは、クライアント自身が自らの情緒的混乱をコントロールできるようにすることである。

===== ポイント&解答 =====

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★★	★★★	★★★	★★★	★★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

しっかりと時間をかけて問題を解くことができれば、多くの受験生が正解できるくらい簡単な問題ですが、本試験となると緊張と時間的な問題から、ケアレスミスをしがちです。社会福祉士試験のように1点の積み重ねが重要な試験形式では、正解できる問題を確実に正解することが合格するための土台となります。

当たり前でしょ!と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、これを難なくやり遂げるのは結構難しいです。

この問題では、文頭の「受容」や「非審判的」といった原則の名前の漢字と、後半部分の説明文の主語に注目しましょう。説明文は、主語がワーカーなのか、クライアントなのかを、見落とさずにしっかりとおさえてください。

解答 4

